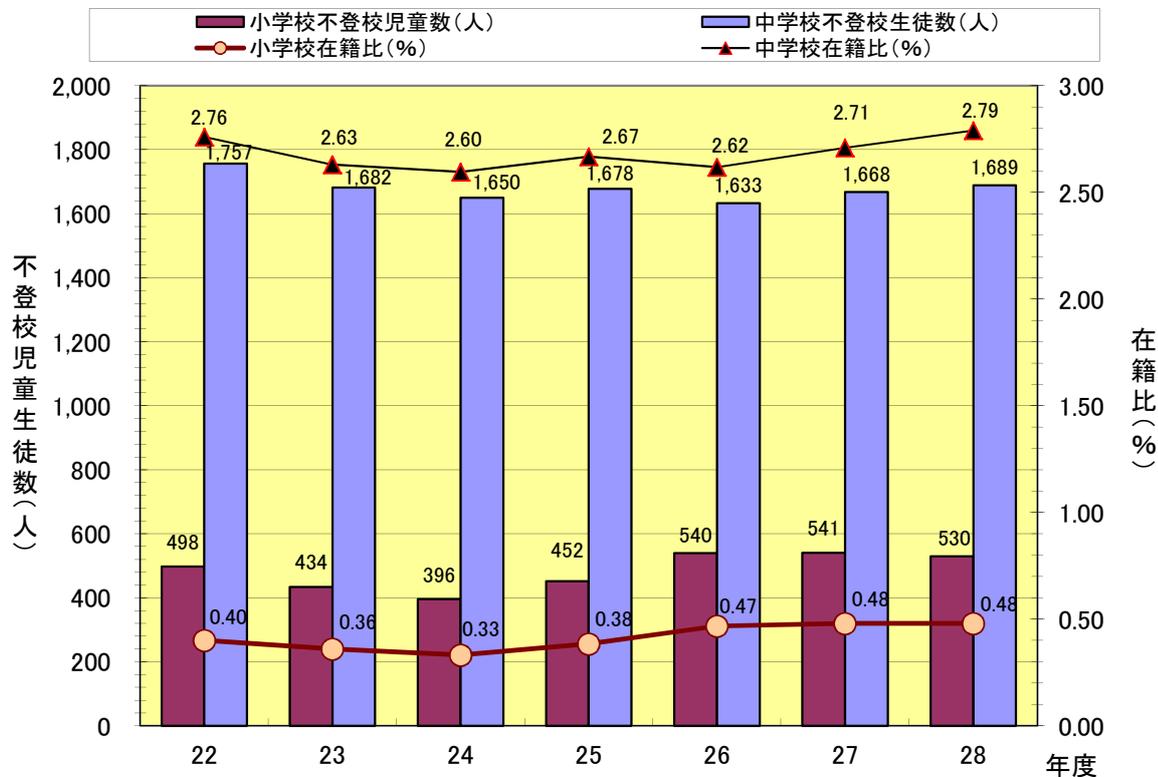


平成28年度 不登校の状況について

心の支援課

1 不登校児童生徒数及び在籍比の推移(国公立・小中高等学校)



年 度		22	23	24	25	26	27	28
小 学 校	人数(人)	498	434	396	452	540	541	530
	前年度増減	▲ 36	▲ 64	▲ 38	56	88	1	▲11
	在籍比 県(%)	0.40	0.36	0.33	0.38	0.47	0.48	0.48
	在籍比 国(%)	0.32	0.33	0.31	0.36	0.39	0.42	0.48
中 学 校	人数(人)	1,757	1,682	1,650	1,678	1,633	1,668	1,689
	前年度増減	▲ 165	▲ 75	▲ 32	28	▲ 45	35	21
	在籍比 県(%)	2.76	2.63	2.60	2.67	2.62	2.71	2.79
	在籍比 国(%)	2.73	2.64	2.56	2.69	2.76	2.83	3.01
合 計	人数(人)	2,255	2,116	2,046	2,130	2,173	2,209	2,219
	前年度増減	▲ 201	▲ 139	▲ 70	84	43	36	10
	在籍比 県(%)	1.20	1.14	1.12	1.18	1.22	1.26	1.29
	在籍比 国(%)	1.13	1.12	1.09	1.17	1.21	1.26	1.35
高 等 学 校	人数(人)	732	646	701	674	664	703	687
	前年度増減	68	▲ 86	55	▲ 27	▲ 10	39	▲16
	在籍比 県(%)	1.20	1.07	1.16	1.14	1.12	1.19	1.17
	在籍比 国(%)	1.66	1.68	1.72	1.67	1.59	1.49	1.47

(注)1 調査名: 文部科学省「平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

2 調査対象: 県内国公立・小中高等学校687校

- ・不登校児童生徒数は、前年度に比べ小学校11人減少、中学校21人増加、高等学校16人減少した。
- ・不登校児童生徒在籍比は、前年度に比べ小学校で増減なし、中学校0.08ポイント増加、高等学校0.02ポイント減少した。

2 不登校の要因

(1) 小学校（公立）

[単位:人、%]

学校、家庭 に係る要因 〔複数回答〕	分割 別人数 (人)	学校に係る状況								家庭 に係る 状況	左記 に該当 なし	
		い じめ	問 題 関 係 を め ぐ る 友 人	い じめ を め ぐ る 友 人 と の 関 係	を 教 職 員 と の 関 係	学 業 の 不 振	進 路 に 係 る 不 安	活 動 へ の 不 適 ・ 不 応	学 校 の き ま り 等 を め ぐ る 問 題			適 学 ・ 進 級 時 の 不 適
本人に係る要因	526 (100)	2 (0.4)	136 (25.9)	38 (7.2)	153 (29.1)	4 (0.8)	4 (0.8)	9 (1.7)	24 (4.6)	289 (54.9)	70 (13.3)	
本人 に係る 要因	「学校における人間関係」 に課題を抱えている	91 (17.3)	1	76	22	15	1			28	3	
	「あそび・非行」の傾向 がある	0 (0.0)										
	「無気力」の傾向がある	105 (20.0)		14	3	50			5	3	77	6
	「不安」の傾向がある	226 (43.0)	1	37	12	69	2	4	4	19	114	38
	「その他」	104 (19.7)		9	1	19	1			2	70	23

・小学校の不登校の要因を「本人に係る要因」でみると、「『不安』の傾向がある(43.0%)」と「『無気力』の傾向がある(20.0%)」で63.0%を占める。「不安」の傾向がある児童のうち、この理由として「家庭に係る状況」「学業の不振」が多い。

(2) 中学校（公立）

[単位:人、%]

学校、家庭 に係る要因 〔複数回答〕	分割 別人数 (人)	学校に係る状況								家庭 に係る 状況	左記 に該当 なし	
		い じめ	問 題 関 係 を め ぐ る 友 人	い じめ を め ぐ る 友 人 と の 関 係	を 教 職 員 と の 関 係	学 業 の 不 振	進 路 に 係 る 不 安	活 動 へ の 不 適 ・ 不 応	学 校 の き ま り 等 を め ぐ る 問 題			適 学 ・ 進 級 時 の 不 適
本人に係る要因	1,662 (100)	6 (0.4)	509 (30.6)	48 (2.9)	690 (41.5)	183 (11.0)	59 (3.5)	25 (1.5)	166 (10.0)	614 (36.9)	199 (12.0)	
本人 に係る 要因	「学校における人間関係」 に課題を抱えている	284 (17.1)	3	236	25	68	16	13	2	20	58	4
	「あそび・非行」の傾向 がある	24 (1.4)		2	1	16	2		5		19	
	「無気力」の傾向がある	506 (30.5)	2	69	5	298	53	16	9	45	243	48
	「不安」の傾向がある	597 (35.9)	1	177	12	261	100	20	6	86	169	70
	「その他」	251 (15.1)		25	5	47	12	10	3	15	125	77

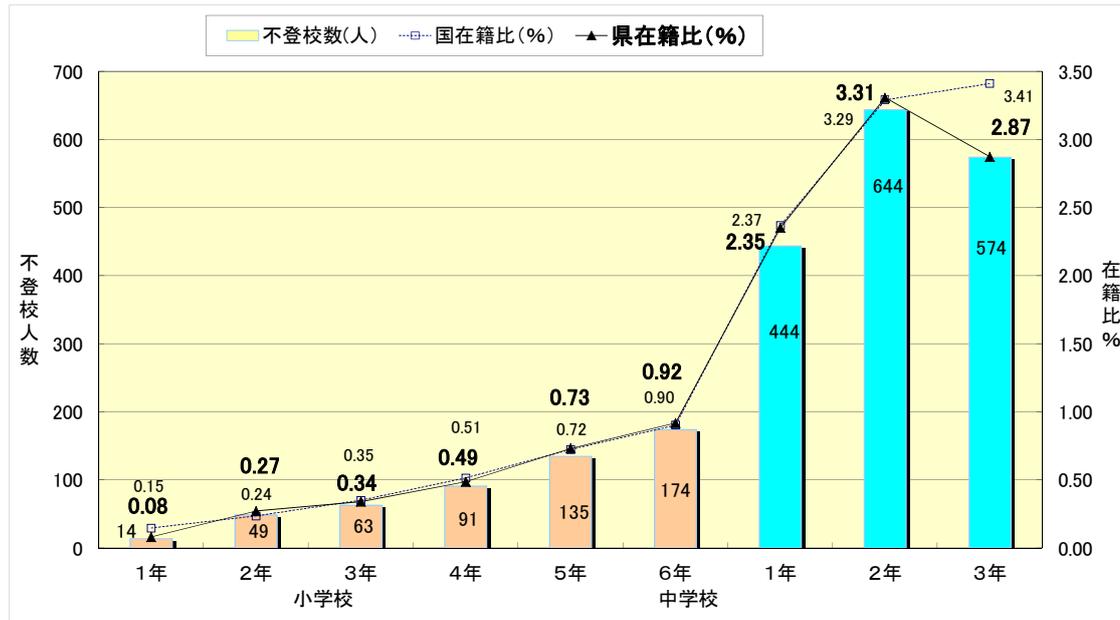
・中学校の不登校の要因を「本人に係る要因」でみると、「『不安』の傾向がある(35.9%)」と「『無気力』の傾向がある(30.5%)」で66.4%を占める。「不安」の傾向がある生徒のうち、この理由として「学業の不振」「家庭に係る状況」が多い。

(注1) 調査名:長野県調査「平成28年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

(注2) 調査対象:県内公立・小中学校554校

(注3) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については複数回答。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は「左記に該当なし」を選択。

3 小中学校における学年別不登校児童生徒数と在籍比(公立)



(注1) 調査名:長野県調査「平成28年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

(注2) 調査対象:県内公立小中学校554校

(注3) 学年在籍比(%) = 学年不登校児童生徒数 / 学年児童生徒数 × 100

- ・不登校児童生徒数及び在籍比は、小学校では6年生が最も多く、中学校で2年生が最も多くなっている。
- ・国とは異なり、中学校3年生で不登校在籍比が減少する。

4 現状と取組の方向性

(1) 現状

- ・平成28年度不登校児童生徒数は小学校・高等学校で減少、中学校で増加
- ・在籍比は小学校は増減なし、中学校では増加、高等学校では減少

(2) 取組の方向性

① 「不登校対策の行動指針」に基づく取組の推進

【新たな不登校を出さないための取組の推進】

- ・児童生徒にとって「自分の居場所」がある学校づくり
- ・授業のユニバーサルデザイン化の推進
- ・多面的・多角的な児童生徒理解に基づいた児童生徒、保護者との信頼関係の構築
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による相談支援体制の充実

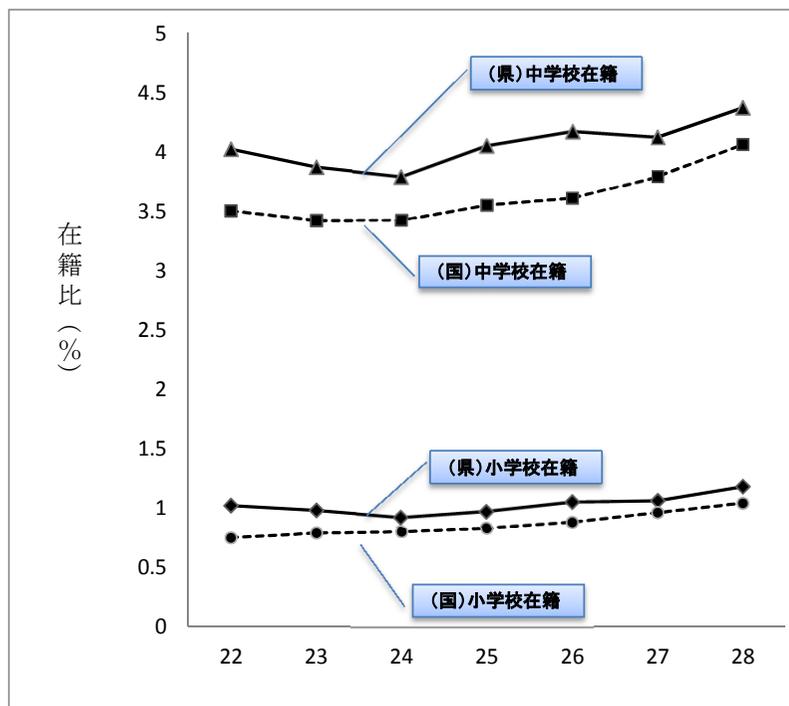
【不登校が長期化している児童生徒の社会的自立に向けた支援の充実】

- ・個々の児童生徒に寄り添った支援策の策定
- ・家庭的な背景への支援に向けて、スクールソーシャルワーカーを通し福祉や医療等関係機関・地域との一層の連携
- ・教育支援センターの充実(市町村)、NPO民間団体(フリースクール)等の周知と情報連携
- ・学校と関係機関、学校間の引継ぎ等切れ目ない情報共有

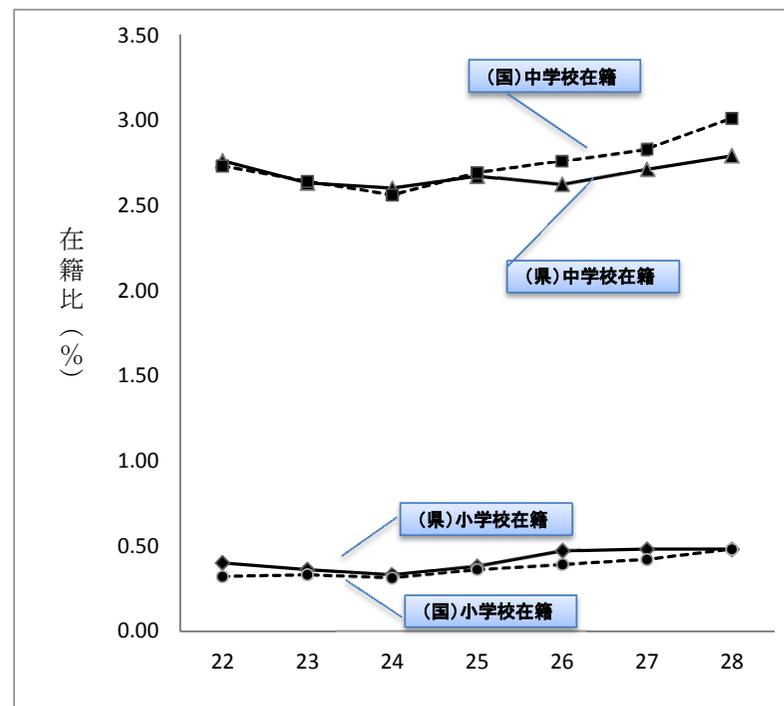
② 『不登校への支援について考える』(不登校への対応の手引 改訂版)の活用の推進

- ・自校における不登校支援の課題について整理し、児童生徒の実態にあった支援

長期欠席児童生徒(経年変化)



不登校児童生徒(経年変化)



		年 度	22	23	24	25	26	27	28
小学校	長期欠席児童(人)	1,262	1,193	1,099	1,144	1,215	1,208	1,311	
	県在籍比	1.02	0.98	0.92	0.97	1.05	1.06	1.18	
	国在籍比	0.75	0.79	0.80	0.83	0.88	0.96	1.04	
	全国順位	5	7	10	8	7	10	12	
中学校	長期欠席生徒(人)	2,563	2,473	2,412	2,547	2,598	2,539	2,651	
	県在籍比	4.02	3.87	3.79	4.05	4.17	4.12	4.37	
	国在籍比	3.50	3.42	3.42	3.55	3.61	3.79	4.06	
	全国順位	8	5	8	6	4	10	11	

		年 度	22	23	24	25	26	27	28
小学校	不登校児童(人)	498	434	396	452	540	541	530	
	県在籍比	0.40	0.36	0.33	0.38	0.47	0.48	0.48	
	国在籍比	0.32	0.33	0.31	0.36	0.39	0.42	0.48	
	全国順位	7	13	16	19	10	13	19	
中学校	不登校生徒(人)	1,757	1,682	1,650	1,678	1,633	1,668	1,689	
	県在籍比	2.76	2.63	2.60	2.67	2.62	2.71	2.79	
	国在籍比	2.73	2.64	2.56	2.69	2.76	2.83	3.01	
	全国順位	21	25	22	20	28	27	31	

(注) 調査名：文部科学省「平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

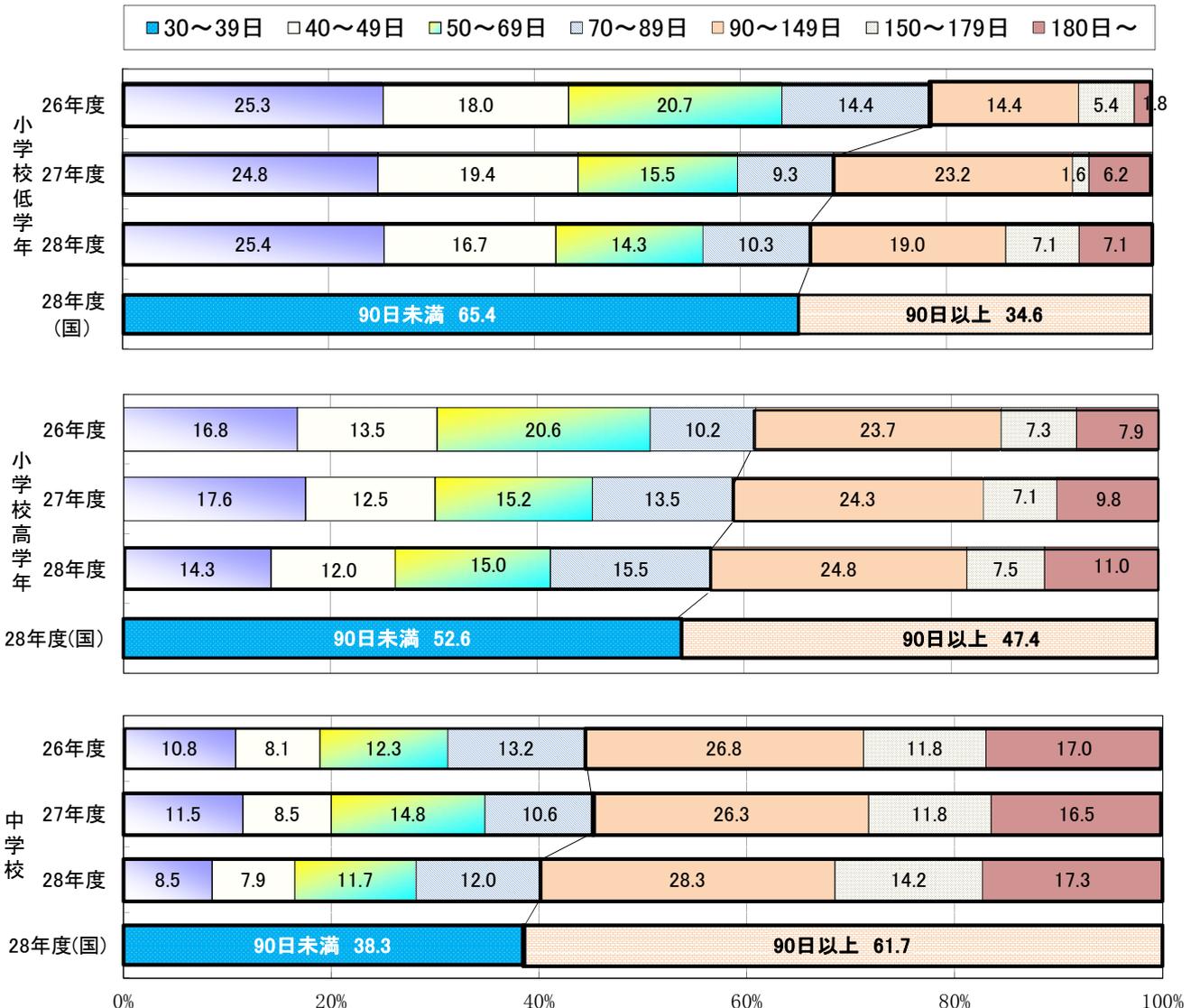
[資料]2 児童生徒の長期欠席状況（公立小中学校）

(1)理由別長期欠席者数

		理由別長期欠席者数(人)								E計
		病気	経済的 理由	不登校	A うち、90日 以上欠席し ている者			その他	D うち、「不登 校」の要因 を含んでい る者	
B うち、出席 日数が10 日以下の 者	C うち、出席 日数が0日 の者									
小学校	県人数(人)	274	0	526	215	28	13	501	184	1,301
	県割合(%)	(21.1)	(0.0)	(40.4)	(16.5)	(2.2)	(1.0)	(38.5)	(14.1)	(100)
	国割合(%)	(30.0)	(0.0)	(45.9)	(20.3)	(3.3)	(1.3)	(24.1)	(5.6)	(100)
中学校	県人数(人)	421	0	1,662	995	163	47	525	277	2,608
	県割合(%)	(16.2)	(0.0)	(63.7)	(38.2)	(6.3)	(1.8)	(20.1)	(10.6)	(100)
	国割合(%)	(16.1)	(0.0)	(74.2)	(45.8)	(9.1)	(2.9)	(9.7)	(4.3)	(100)
小中合計	県人数(人)	695	0	2,188	1,210	191	60	1,026	461	3,909
	県割合(%)	(17.8)	(0.0)	(56.0)	(31.0)	(4.9)	(1.5)	(26.2)	(11.8)	(100)
	国割合(%)	(20.7)	(0.0)	(64.9)	(37.4)	(7.2)	(2.4)	(14.4)	(4.7)	(100)

(注)割合(%)は、長期欠席者数におけるA~Dの割合。[A/E(%)、B/E(%)、C/E(%)、D/E(%)]は、国と同様の計算方法。

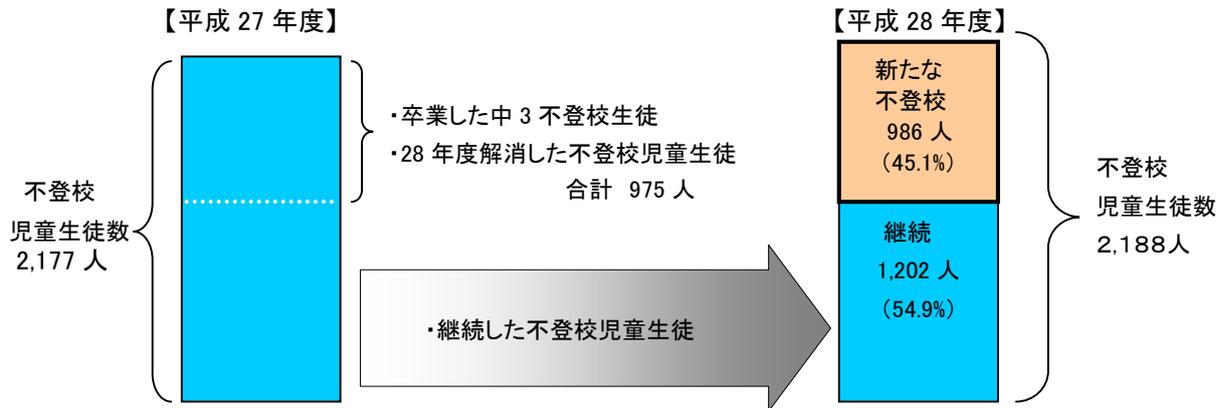
(2)平成26年度~28年度 不登校児童生徒 欠席日数別構成比



(注)調査名:長野県調査「平成28年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

(注)国のグラフは国公立を合わせた値

＜図1：不登校児童生徒数の構成＞



＜表1 小中学校における継続・新規不登校児童生徒数の推移＞

(単位:人、%)

		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	5年間平均
小学校	不登校児童数(A+B)	394	448	533	537	526	488
	前年度から継続している不登校数 (A)	123	124	151	234	252	177
	(構成比)	31.2%	27.7%	28.3%	43.6%	47.9%	36.3%
	新たな不登校児童数 (B)	271	324	382	303	274	311
(構成比)	68.8%	72.3%	71.7%	56.4%	52.1%	63.7%	
中学校	不登校生徒数(A'+B')	1,616	1,646	1,605	1,640	1,662	1,634
	前年度から継続している不登校数 (A')	881	874	732	922	950	872
	(構成比)	54.5%	53.1%	45.6%	56.2%	57.2%	53.4%
	新たな不登校生徒数 (B')	735	772	873	718	712	762
(構成比)	45.5%	46.9%	54.4%	43.8%	42.8%	46.6%	
小学校 中学校 合計	不登校児童生徒数(A''+B'')	2,010	2,094	2,138	2,177	2,188	2,121
	前年度から継続している不登校数 (A'')	1,004	998	883	1,156	1,202	1,049
	(構成比)	50.0%	47.7%	41.3%	53.1%	54.9%	49.4%
	新たな不登校児童生徒数 (B'')	1,006	1,096	1,255	1,021	986	1,073
(構成比)	50.0%	52.3%	58.7%	46.9%	45.1%	50.6%	

＜表2 小中学校における学年別継続・新規不登校児童生徒数＞

(単位:人、%)

平成 28 年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学年別不登校児童生徒数	14	49	63	91	135	174	444	644	574
継続不登校児童生徒数	-	22	27	35	57	111	151	371	428
(構成比)	-	44.9%	42.9%	38.5%	42.2%	63.8%	34.0%	57.6%	74.6%
新たな不登校児童生徒数	-	27	36	56	78	63	293	273	146
(構成比)	-	55.1%	57.1%	61.5%	57.8%	36.2%	66.0%	42.4%	25.4%

(注) 1 調査名：長野県調査「平成 28 年度長期欠席児童生徒の状況報告書（年間）調査①」

2 調査対象：県内公立・小中学校 554 校

・平成28年度の小中学校合計における新たな不登校児童生徒数の構成比は45.1%である。（平成27年度より1.8%減）
・学年では、小学校4年生が61.5%、中学校では1年生が66.0%で最も高くなっている。

〔資料〕 4 市郡別不登校児童生徒数在籍比の推移及び28年度長期欠席者数在籍比

心の支援課

小学校 市郡別										中学校 市郡別									
番号	年度	不登校						長期欠席		番号	年度	不登校						長期欠席	
		26年度		27年度		28年度		28年度				26年度		27年度		28年度		28年度	
		人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)			人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)
1	小諸市	11	0.48	7	0.32	7	0.31	40	1.79	1	小諸市	29	2.55	35	2.96	44	3.87	83	7.31
2	佐久市	24	0.44	30	0.56	32	0.61	65	1.24	2	佐久市	64	2.30	55	2.07	56	2.07	105	3.89
3	上田市	35	0.40	40	0.47	41	0.49	121	1.45	3	上田市	119	2.69	130	3.00	131	3.01	195	4.47
4	東御市	3	0.18	6	0.37	4	0.25	13	0.80	4	東御市	23	2.52	23	2.62	28	3.19	39	4.44
5	伊那市	21	0.53	37	0.94	10	0.26	33	0.86	5	伊那市	58	2.84	38	1.85	41	1.99	61	2.96
6	駒ヶ根市	14	0.74	9	0.48	2	0.11	8	0.44	6	駒ヶ根市	30	2.94	24	2.36	33	3.25	50	4.93
7	岡谷市	6	0.22	1	0.04	2	0.07	27	1.01	7	岡谷市	4	0.28	12	0.82	9	0.67	74	5.48
8	諏訪市	11	0.41	12	0.45	9	0.35	29	1.12	8	諏訪市	27	1.92	28	2.07	24	1.81	77	5.79
9	茅野市	3	0.09	2	0.06	1	0.03	48	1.56	9	茅野市	10	0.61	10	0.60	8	0.49	74	4.57
10	飯田市	27	0.47	32	0.57	33	0.59	78	1.40	10	飯田市	62	1.96	70	2.27	92	3.05	173	5.73
11	松本市	75	0.59	88	0.69	87	0.68	138	1.08	11	松本市	212	3.30	235	3.70	242	3.95	318	5.19
12	塩尻市	8	0.22	14	0.40	28	0.82	46	1.35	12	塩尻市	27	1.46	38	2.09	57	3.16	77	4.28
13	大町市	10	0.73	10	0.76	7	0.57	12	0.97	13	大町市	14	1.71	19	2.49	29	3.78	38	4.95
14	安曇野市	33	0.62	23	0.44	28	0.55	64	1.27	14	安曇野市	84	2.91	93	3.24	72	2.55	93	3.30
15	長野市	100	0.49	97	0.48	75	0.38	208	1.06	15	長野市	357	3.52	328	3.24	285	2.85	471	4.71
16	須坂市	14	0.50	11	0.40	9	0.33	21	0.77	16	須坂市	51	3.32	59	3.92	42	2.82	68	4.56
17	中野市	13	0.53	8	0.33	6	0.26	26	1.11	17	中野市	37	2.59	39	2.78	42	3.15	47	3.52
18	飯山市	3	0.28	2	0.19	8	0.80	9	0.90	18	飯山市	11	1.71	6	1.03	6	1.05	7	1.23
19	千曲市	14	0.43	10	0.32	16	0.52	30	0.98	19	千曲市	49	2.77	51	2.92	50	2.89	57	3.29
20	南佐久郡	2	0.17	2	0.17	4	0.36	11	0.98	20	南佐久郡	18	3.24	12	2.31	11	2.20	18	3.60
21	北佐久郡	9	0.39	21	0.92	16	0.72	65	2.91	21	北佐久郡	30	2.62	31	2.78	39	3.62	48	4.45
22	小県郡	0	0.00	0	0.00	1	0.20	5	1.01	22	小県郡	3	1.84	2	1.33	2	1.48	3	2.22
23	上伊那郡	28	0.59	20	0.43	27	0.58	46	0.98	23	上伊那郡	79	3.19	85	3.45	85	3.52	96	3.98
24	諏訪郡	6	0.27	4	0.18	12	0.54	27	1.22	24	諏訪郡	22	2.01	20	1.87	27	2.47	41	3.76
25	下伊那郡	23	0.66	22	0.64	26	0.78	43	1.29	25	下伊那郡	49	2.55	56	3.02	59	3.20	83	4.51
26	東筑摩郡	5	0.45	7	0.62	4	0.38	14	1.32	26	東筑摩郡	0	0.00	1	0.89	3	3.06	3	3.06
27	木曾郡	13	1.05	11	0.92	11	0.93	14	1.18	27	木曾郡	27	3.99	27	4.08	24	3.82	32	5.09
28	北安曇郡	4	0.25	4	0.26	7	0.46	18	1.19	28	北安曇郡	19	2.19	21	2.36	20	2.25	30	3.37
29	埴科郡	4	0.48	2	0.25	1	0.13	5	0.64	29	埴科郡	(非公表)							
30	上高井郡	6	0.58	2	0.19	4	0.39	4	0.39	30	上高井郡	10	1.81	5	0.97	7	1.34	11	2.11
31	下高井郡	1	0.11	0	0.00	1	0.11	8	0.90	31	下高井郡	13	2.50	12	2.25	14	2.64	18	3.39
32	上水内郡	4	0.40	3	0.31	7	0.73	24	2.49	32	上水内郡	13	2.15	16	2.68	17	3.13	26	4.79
33	下水内郡	(非公表)								33	下水内郡	(非公表)							
長野県										長野県									
国在籍比 (%)		0.39	0.42	0.48	1.04	1,633		2.62	1,668	2.71	1,689	2.79	2,651	4.37					
国在籍比 (%)		0.39		0.42		0.48		1.04		2.76		2.83		3.01		4.06			

※調査名：長野県調査「平成28年度長期欠席児童生徒の状況報告書（年間）調査①」
 ※平成29年4月1日現在の市町村の区割りとする。
 ※市郡別数値は、組合立学校及び県立中学校、国立・私立を除く。
 ※長野県数値は、国立・私立を含む。